

平成30年度 岩城小学校 学校関係者評価集計表

結果： 4＝あてはまる 3＝おおむねあてはまる 2＝どちらかといえばあてはまらない 1＝あてはまらない

H31. 1. 31

評定： A＝対象の80%以上が肯定 B＝対象の70%以上が肯定 C＝対象の60%以上が肯定 D＝対象の60%未満が肯定

＜■は課題となる結果＞

項 目	評価指標	評価資料	アンケート結果					評定	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員から)			
			4	3	2	1	無			%			
教育目標	「自ら学び なかよく励む子の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員	4	6	0	0	0	A	・保護者や地域の肯定的な意見が多い。今後、さらに確かなものとする取組が望まれる。		99%		
		児童											
		保護者	14	31	1	0	6						
		地域住民	10	14	0	0	0						
学力・ 学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	9	1	0	0	0	A	・児童と保護者の評価に差がある。 ○家庭学習の方法を定期的に伝えるなど学校と家庭の連携を密にしていく。 ○学力状況調査、診断調査の結果を参考にして取組を改善する。 ＜来年度の取組案＞ ○朝の活動（読解力の強化） ○自主勉強の推進 ○補習時間（補充学習と読解力の強化、i プリの活用） ○個別指導の工夫 ○発達段階に応じた発表の仕方の指導を検討する必要がある。また表現の場を多く設け、大きな声で発表できるよう励ましていきたい。	学習習慣に関しては家の問題で学校に求めるものではない。今のご時世で何でも学校に求める風潮があるが、それは間違い。 「発表の仕方」がなぜこの判定（B判定）なのかが不思議である。保護者は何を目標しているのか、何が不満なのかははっきりさせたい。 発表の仕方について、保護者の目から見た「どこまでできていたらいい」という判断の基準はあるのか？ 参観日では、我が子の発表の様子だけを見てそのように判断しているのではないだろうか。雑談をしながらの参観する保護者の姿が見られるが、きちんと学級全体を評価できるのかどうか疑問である。 子どもを見ていると、きちんと根拠を述べて発言できる子もいる。 低学年の授業を見せてもらおうと意欲的に挙手するが、発言の際に「忘れまし	た」という児童がいる。	95%	
		児童	53	21	2	0							
		保護者	13	33	5	0	1						
		地域住民	8	15	1	0	0						
	望ましい学習習慣・学習態度（家庭学習も含む）を育成している。	教職員	3	5	2	0	0	A					90%
		児童	56	18	1	1							
		保護者	6	36	10	0	0						
		地域住民											
	児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	1	8	1	0	0	B					80%
		児童	44	21	10	1							
		保護者	5	31	14	2	0						
		地域住民											
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	4	5	1	0	0	A	・今後も、主体的、対話的で深い学びにつながる授業をめざして授業研究に取り組んでいきたい。 ・自然、文化について計画的に地域人材を活用した。 ・読み聞かせボランティアが充実していた。		98%		
		児童	66	9	1	0							
		保護者	18	32	2	0	0						
		地域住民	12	13	0	0	0						
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	7	3	0	0	0	A				96%	
		児童	54	19	3	0							
		保護者	25	25	1	0	1						
		地域住民	12	10	3	0	0						
心の教育	望ましい人間関係づくりができています。	教職員	3	6	1	0	0	A	・ふれあい学習会は、6年生と保護者、地域の方といっしょに行うことで、大変有意義なものになった。 ○どのようにすれば多くの人に参加してもらえるか今後も話し合っていく。		96%		
		児童	66	8	2	0							
		保護者	17	31	2	1	1						
		地域住民											
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	6	4	0	0	0	A				100%	
		児童	72	4	0	0							
		保護者											
		地域住民											
	人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	5	4	0	0	0	A				95%	
		児童	60	12	4	0							
		保護者	23	27	2	0	0						
		地域住民	9	14	2	0	0						
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	7	3	0	0	0	A	・個々の目的に合わせて運動量や質を変え、体力づくりを進めることができた。 ・なわとび大会を実施することにより、レベルが飛躍的に向上した。 ○苦手な児童への支援を考えてかなければならな		90%		
		児童	53	14	5	4							
		保護者	36	25	6	0	0						
		地域住民											
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員	7	3	0	0	0	A	・運動会、ふれあい学習会、しめ縄づくり等で工夫を凝らしながら、地域と交流できた。 ・しめ縄づくり等、教員が参加できるよう時間設定を考えていきたい。		99%		
		児童	56	19	1	0							
		保護者	30	21	1	0	0						
		地域住民											
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員	7	3	0	0	0	A	○誰にも相談しない児童が数名いる。アンケート等を利用して教育相談を充実させたり、気軽に話せる人間関係の構築に努めていきたい。		93%		
		児童	51	15	6	3							
		保護者	11	37	0	0	3						
		地域住民	6	10	2	0	0						
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができています。	教職員	3	7	0	0	0	A	○ゲームの時間が長すぎるせいか、10時までに寝ていない児童が多い。保護者の協力が必要である。 ・児童と保護者との温度差が大きい。昨年に比べ学校でも挨拶ができていないように思う。また、家庭や地域で挨拶ができにくい子がいる。 ○家庭への感謝や地域とのつながりについて考えさせながら、挨拶を進めていきたい。		96%		
		児童	50	23	3	0							
		保護者	19	31	2	0	0						
		地域住民											
	進んで気持ちのよいあいさつができています。	教職員	2	5	3	0	0	A				88%	
		児童	62	11	2	0							
		保護者	11	31	10	0	0						
		地域住民	16	7	3	1	0						
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	4	4	2	0	0	A	○将来の夢について考える機会を多く設定したり、道徳教育の充実を図ったりする。 ○スピーチなどを通して、自分の思いを表現する場を設けるようにする。		82%		
		児童	51	13	4	8							
		保護者	13	28	7	4	0						
		地域住民											
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができています。	教職員	7	3	0	0	0	A	・昨年に比べ、避難訓練の態度がよい。		93%		
		児童	59	12	1	4							
		保護者	19	29	4	1	0						
		地域住民	16	10	1	0	0						
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	7	3	0	0	0	A	・例年より教員の評価が高くなっている。これからも校内体制をしっかりと整え、全教職員が協力して取り組んでいきたい。		95%		
		児童											
		保護者	11	31	2	1	7						
		地域住民											
保護者・ 地域との 連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	6	4	0	0	0	A	・地域、保護者の期待に応える教職員をめざす必要がある。 ・昨年までは、ホームページのアクセス数が70程度であったが、今年になって、200～300になっている。修学旅行時には、1日に1000を超えていた。学校への関心が高まっている。		90%		
		児童											
		保護者	18	27	4	2	2						
		地域住民											
	「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	10	0	0	0	0	A				99%	
		児童											
		保護者	23	26	0	1	1						
		地域住民	14	11	0	0	0						
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	教職員	6	5	0	0	0	A	・昨年の反省を生かして、複数の目で安全点検を行った。 ○掃除時間に無駄口が増えている。時間いっぱい掃除するよう指導していく。		97%		
		児童	58	17	1	0							
		保護者	23	28	0	1	0						
		地域住民	17	7	3	0	0						